

【プログラム】

- 9：00～ 受付開始
- 9：30～ 9：40 開会挨拶
建石 徹（東京文化財研究所保存科学研究センター長）
- 9：40～9：55 趣旨説明、両副所長略歴紹介、演者紹介
9：55～10：00 日鉄テクノロジー紹介
挨拶：澤井 隆（日鉄テクノロジー研究試験事業所長）
- 10：00～10：40 基調講演①「日本絵画における白色顔料の変遷」
早川泰弘（東京文化財研究所副所長）
- 10：40～10：45 休憩
- 10：45～12：05 研究発表
- 10：45～11：05 「文化財分野における分析技術の歴史と発展」
渡邊緩子（日鉄テクノロジー）
- 11：05～11：25 「分光分析と文化財の調査」
犬塚将英（東京文化財研究所）
- 11：25～11：45 「古代ガラスの色と技術」
田村朋美（奈良文化財研究所）
- 11：45～12：05 「機器分析により明らかにされた正倉院宝物に用いられた染料素材」
中村力也（宮内庁正倉院事務所）
- 12：10～14：00 各種分析機器の展示とデモ（休憩兼）
- 14：00～14：20 研究発表
- 14：00～14：20 「古代のいろいろ」
馬場 基（奈良文化財研究所）
- 14：20～14：40 「古墳壁画の色調再現～使用光源・感光材料の変遷と検証」
中村一郎（奈良文化財研究所）
- 14：40～15：00 「たたら製鉄で造られた和釘の鉄組織からわかること」
末廣正芳（日鉄テクノロジー）
- 15：00～15：40 基調講演②「領域を越えて」
高妻洋成（奈良文化財研究所副所長）
- 16：00～16：50 パネルディスカッション
- 16：50～17：00 閉会挨拶
金田明大（奈良文化財研究所埋蔵文化財センター長）